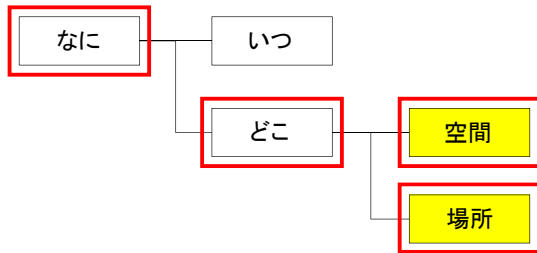


場所の政治的意味

政治・空間・場所 第5章
第2部 空間・場所・領域

地理学における「場所」概念

- 地理的空間の一部、公式・非公式に社会関係やアイデンティティ(帰属意識)が形成される地理的環境(settings)
- 「空間」と対比される地理学における基本概念の一つ



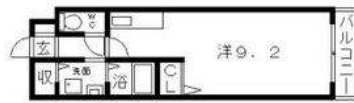
空間と場所の違い(1)

- 戦後に明確に概念化
- 1950年代から「空間 space」を分析するアプローチの隆盛
- 70年代以降、それに対する批判的立場から「場所 place」の概念が生まれる
- 地理学の対象となる地域(私たちが生きる場)に二つの性格がある

空間と場所の違い(2)

- 空間
 - 抽象的、一般的、客観的
- 場所
 - 具体的、個別的、主観的
 - = 平均(均質)化されない固有のもの
 - = 原則的にコピーしたり、代替できない
 - = 日常性との関わり(場所化)

市大近辺のワンルーム・マンション



<http://house.goo.ne.jp/rent/ap/detail/1/27120/060H000081293731/083040004/a007466977.html>

空間のとらえ方(1)

- 交通(沿線/駅/バス停)=JR阪和線杉本町
- 所在地=大阪府大阪市住吉区山之内3
- 賃料/管理費等=5.5万円/4000円
- 礼金/敷金=なし/9万円
- 間取り/広さ=ワンルーム/25.25㎡
- 物件タイプ/築年月=マンション/05年11月

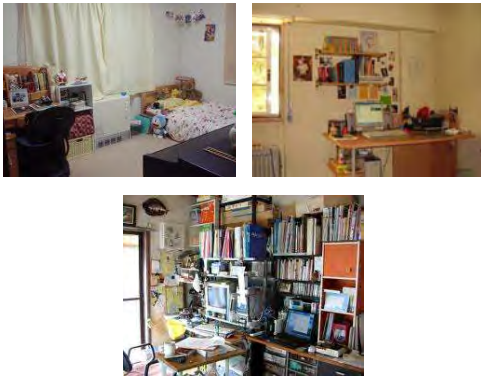
7

空間のとらえ方(2)

- 下宿生の方は入学前にどうしたか教えてください
- 今その部屋はどうなっていますか

8

Google「私の部屋」画像検索



9

場所のとらえ方

- 同じワンルーム・マンションの部屋に住まうことによって、具体性、個別性、主観性が与えられる
- 下宿していない人でも私の部屋、わが家についてそのような要素があるか
- 引っ越したことがある人は、それまで住んだ場所と新しく住む空間に違いを感じたか

10

空間と場所の緊張

- 空間か場所かという二者択一ではない
- 空間の均質性と場所の固有性との関係
↓
両者間の緊張関係が社会の動態を生みだす=場所の政治
- 例えば、

11

伝統的な農村景観



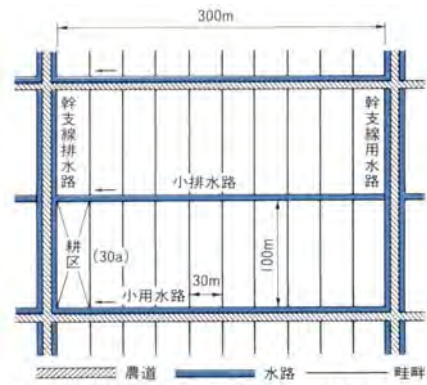
12

近代的空間利用: 圃場整備事業



滋賀県水口町

13



圃場整備事業における標準的な耕地組織

14



圃場整備 整備された水田、水田自動灌漑、主要幹水路、二級幹水路とした土地利用 (石川新田村自治会)

石川県松任市

15

棚田 (= 文化的景観) の保存



棚田 (大阪府千早赤阪村)

16



17



18



場所論の政治地理学への応用(1)

- 場所の政治的概念化(ステーリ2006)
 - ① 物理的な位置としての場所
 - ② 文化的、社会的位置としての場所
 - ③ コンテキスト(行動の文脈)としての場所
 - ④ 歴史的、社会的に構築された場所
 - ⑤ 社会的過程としての場所

場所論の政治地理学への応用(2)

- つまり場所は
 - 物理的で具体性をもつ存在であり(概念①)
 - 文化や社会に意味を与え(概念②)
 - 人間を社会的に位置づけ、その政治行動を形成するコンテキストを構成し(概念③)
 - 歴史的、社会的に構築され(概念④)
 - 現在においても(再)構築され続けている(概念⑤)

社会的過程としての場所

- マルチスケールの観点←新しい地誌学
- 「構造化理論」(ギデンズ1989)の参照
 - 日常生活(制度や慣習)が特定の時間と空間のコンテキストの中で形成され、再生産されるメカニズム
 - 「構造structure」と「行為主体agent」との相互作用
- 場所構築の説明に援用
 - 一般性のある構造と個性を持つ主体の相互作用から一定の持続的性質をもつ場所が生成される

アグニューの場所論

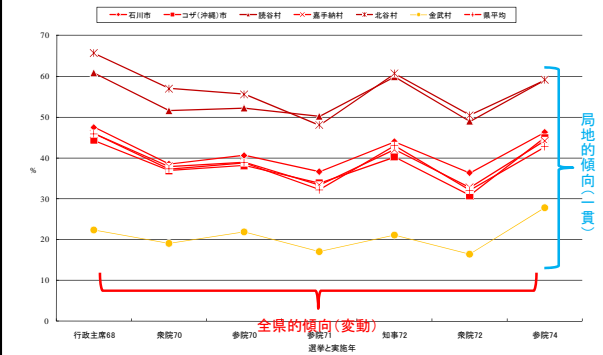
- 「場所の政治」生成の三つの次元
 - ローカル(locale): ミクロスケールの場所の内実
 - ロケーション(location): 場所におけるマクロスケールの秩序の影響
 - 場所の感賞(sense of place): 場所での生活から生み出される主観的(政治)指向性
- 政治的地域性はどのように見出され、なぜ現れ、どう意義付けられるのか

沖縄の投票行動

- 米軍統治を通しての**保革クリーヴィッジ**(政治的亀裂)の形成
 - 沖縄社会が米軍統治に関わる利害から分化
 - この分化が多様かつ一貫性のある**クリーヴィッジ**としてローカルに発現、明確な地域的パターン←**場所の政治**
 - 保革得票率の計量(重回帰)分析
 - 市町村ごとの基地占有率や住民の社会経済的屬性からは保守票の伸長について説明力が高い
 - 革新票は地域ダミー変数などコンテクスチュアルな因子の効果が高い(後日詳述)

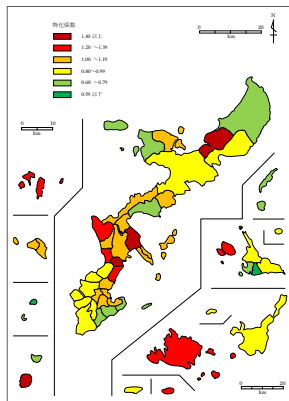
25

沖縄県基地所在市町村における革新絶対得票率(1968-1974)



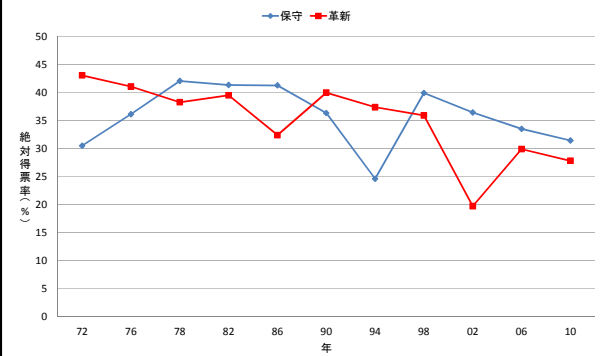
26

1995年の参議院選挙における革新票の特化係数



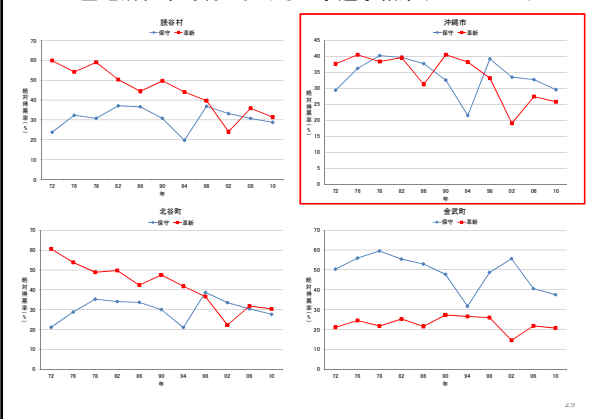
27

沖縄県知事選の絶対得票率(1972-2010)



28

基地所在市町村における知事選挙結果(1972-2010)



29

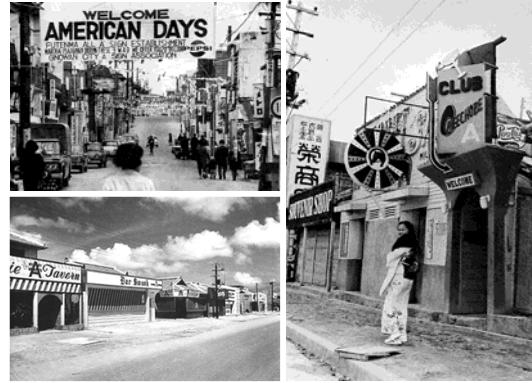


30

嘉手納基地



31



32

嘉手納基地(左上)と沖縄市(旧コザ市、右下)



33



34



35



36



37

場所としてのコザ

- ① 物理的位置
嘉手納基地ゲート前(基地の街)
- ② 文化的、社会的位置
米軍支配下にある琉米混淆の街
- ③ コンテキスト
親米・反米の行動を惹起
- ④ 歴史的、社会的構築性
戦後の米軍統治の遺制を引きずる
- ⑤ 社会的過程
戦後の冷戦・日米同盟下の「基地の街」という構造において保守と革新が拮抗するという固有性を形成・維持

38

「場所の政治」研究の意義

- 全国化やグローバル化の潮流(一般性)の中で局地的な場所の価値(固有性)を見出す。
- マルチスケールでの動態と人間の主観や行為との関係から、政治を媒介として人間と地理的環境が密接に結びついていることがわかる。
- 地理学＝地理的決定論ではなく、社会を一括りする見方に異議をとる

39